

3-5 安価で軽量な土留め

施工頻度の高い“浅埋配管”時に、軽量で取扱いが容易な土留め工がほしい

矢板 腹起し



軽量鋼矢板施工例

現状・課題

掘削構内土留めの作業負担が大きく、安全作業のショートカットに繋がりがやすい

- ・当日、掘削深さや既設管に合わせた、矢板の長さの調整が面倒
- ・既存の軽量鋼矢板は深埋配管での設置を前提としており、浅埋配管ではオーバースペック
- ・軽量鋼矢板（アルミ矢板）や、コンパネを使った土留めは設置が手間
- ・梁が作業の邪魔になる など

開発コンセプト

- ・手間をかけず安全に **（簡易）**
- ・すぐ打てる **（スピード）**
- ・軟弱地盤にも **（強固）** 対応が可能